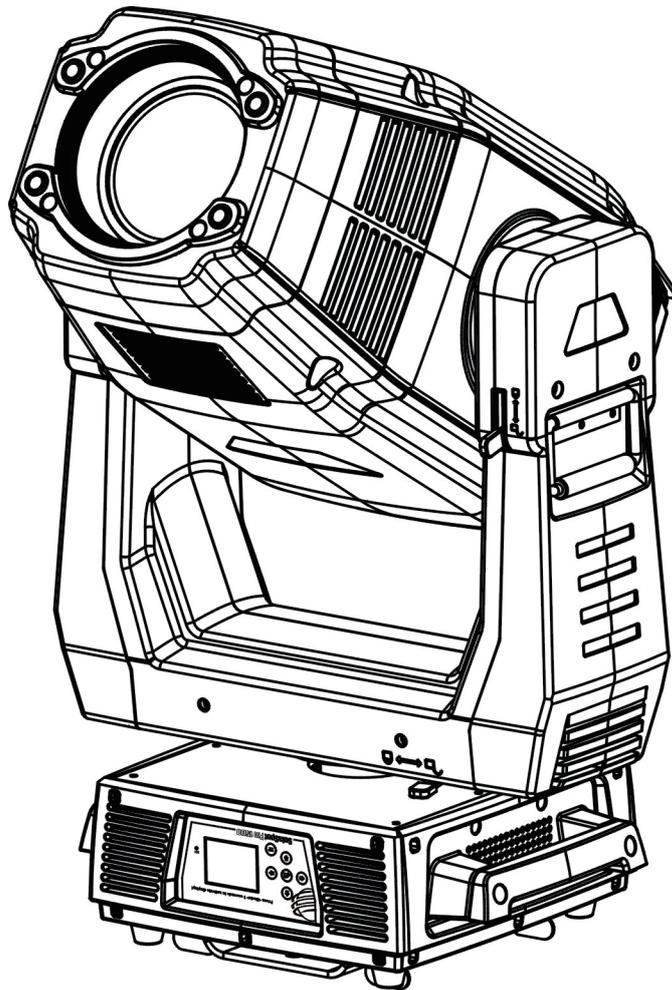


HIGH END SYSTEMS



a Barco company

プロフェッショナルムービングヘッド ユーザーマニュアル



# SolaSpot Pro 1500

Version 1.2.0





## 安全にお使いいただくために

### 警 告

-  ● 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
-  ● 弊社指定の使用条件でお使いください。使用条件を厳守されないと、感電・火災の原因となります。
-  ● 器具の本体質量に見合ったスタンド（取付金具）を使用してください。スタンド（取付金具）の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。
-  ● 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。指定距離より近すぎると、火災の原因となります。
-  ● 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  ● 器具の使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。使用角度範囲を越えると、器具の破損、ランプの破裂の原因となります。
-  ● 器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。接触していると火災の原因となります。
-  ● 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
-  ● 器具を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。
-  ● 煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  ● 異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

# 注 意

## 1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。  
破損・変形・火災とランプの破裂の原因となることがあります。
- この器具は許容周囲温度内で使用してください。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。  
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

## 2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。  
未熟者だけでの対応は、間違いの原因となることがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく行ってください。  
器具が転倒・落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。  
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

## 3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。  
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。  
残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。

## 4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

## 注 意

- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。  
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。
- 器具の安全シールド（レンズ、ガラス等）を取り外して使用しないでください。  
ランプの破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。  
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

### 5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。  
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。  
感電・火災の原因となることがあります。
- 冷却ファンは、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。  
器具の故障・火災の原因となります。
- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。  
ランプの破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。  
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があり取扱説明書に基づき処置してください。  
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないでください。  
火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。  
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。
- 日常点検の他に弊社や専門家による定期点検を実施してください。  
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

### 6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。  
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。  
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。  
感電・火災の原因となるおそれがあります。

# 目次

はじめに	2
FCC 関連情報	5
特許	5
製品の改造に関する注意事項	5
保証に関する情報	5
安全に関する重要な情報	6
器具概要	7
主な仕様と機能	8
安全に関する注意事項	9
重要注意事項	9
メンテナンス	10
一般的なガイドライン	11
設置手順	12
取付具に関する指示	12
外形寸法図	13
設置方向	14
器具をリンクさせる	15
ケーブルコネクタ	15
リンクを接続する	16
DMX のターミネーション (末端処置)	16
DMX スタートアドレス	17
器具のコントロールボード	18
コントロールボードの機能	20
プリセットプログラミングとプレイバック	30
プリセットプログラミングの概要	30
「Preset」メニュー	31
「Edit Scenes」	32
「Edit Program」	33
「Select Program」	34
DMX プロトコル	35
チャンネル一覧	36
プロトコルの詳細	37
エラーコード	43

## はじめに

© Barco Lighting Systems, 2014, All Rights Reserved

本文書に記載の情報および仕様は、通知なく変更されることがあります。本マニュアルには、誤った記述もしくは不正確な記述が記載されている可能性があります。Barco Lighting Systems 社は、かかる記述に関する一切の責任もしくは義務を負いません。

本文中では、以下の商標を使用しています。

High End Systems、Wholehog、および Lithopatterns は登録商標です。また intellaspot、Internal Effects、High End Systems 社の地球型ロゴ、Hog ロゴは Barco Lighting Systems 社の商標です。High End Systems, Inc. は登録商標です。Belden はベルデン社の登録商標です。

本文書では、上記以外の商標および商標名もしくはその製品のいずれかの権利を保有する団体を示すものとして、かかる商標および商標名を使用することがあります。High End Systems 社は、他者が所有する商標および商標権に関する一切の所有権を放棄します。

## Contacting High End Systems ®

---

<b>Sales Department</b>	High End Systems, Inc. 2105 Gracy Farms Lane Austin, TX 78758 USA voice:512.836.2242 fax:512.837.5290 Toll Free: 800.890.8989
<b>Customer Service</b>	High End Systems, Inc. 2105 Gracy Farms Lane Austin, TX 78758 USA voice:800.890.8989 fax: 512.834.9195 toll free: 800.890.8989 email: support@highend.com
<b>World Wide Web</b>	<a href="http://www.highend.com">http://www.highend.com</a>

---

# HIGH END SYSTEMS



a Barco company

## Declaration of Conformity

**Manufacturer's name:** Barco Lighting Systems, Inc

**Manufacturer's address:** 2105 Gracy Farms Lane  
Austin, Texas 78758 USA

**Distributor's name:** Barco Lighting Systems, Inc.

**Distributor's address:** 2105 Gracy Farms Lane  
Austin, Texas 78758 USA

**Product Name:** Solaspot Pro 1500

**Product Options:** All

*We hereby declare that the above referenced product complies with the essential requirements of Council Directives 2004/108/EC (EMC), 2006/95/EC (LVD) and 2011/65/EC (RoHS) .*

**Safety:** EN 60598-1: 2008 + A11 (2009)  
EN 60598-2-17: 1989 A1-A3 (1993)  
EN62493 (2010)

**EMC:** Emission: EN55015:2006+A1:2007+A2:2009  
EN61547:2009  
EN 61000-3-2 (2006) + A1 (2009) + A2 (2009)  
EN 61000-3-3 (2008)

<b>ROHS:</b>	<b>Restricted Substances</b>	<b>Maximum Concentration Value (by weight in homogeneous material)</b>
	Cadmium (Cd)	0.01%
	Lead (Pb)	0.1%
	Mercury (Hg)	0.1%
	Hexavalent Chromium (Cr VI)	0.1%
	Polybrominated Biphenyl (PBB)	0.1%
	Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE)	0.1%

Kenneth S. Hansen

Compliance Engineer  
November 14, 2014

## FCC 関連情報

本機器について試験を実施した結果、FCC 規則パート 15 に基づくクラス A デジタル機器に関する制限に準拠していることが判明しています。この制限は、機器を商業環境下で操作する場合に生じる有害な干渉を適正に防止するために設けられたものです。本機器は高周波エネルギーを発生・使用する装置であり、高周波エネルギーが放射される可能性があります。また取扱説明書に従って設置・使用しなかった場合、無線通信に対する有害な干渉が生じるおそれがあります。居住区域において本機器を操作した場合、有害な干渉を生じる可能性があります。その場合、ユーザーは自らの費用負担により、有害な干渉を是正する義務を負います。

## 特許

---

知的財産権の通知

特許のリストについては下記 Web アドレスにアクセスしてご覧ください。

<https://www.highend.com/company/patents>

---

## 製品の改造に関する注意事項

High End Systems 社では、米国および国際的な安全規制の要件に適合するように製品を設計し、製造しています。製品を改造した場合、安全性に影響が生じ、関連する安全規格に製品が適合しなくなる可能性があります。

## 保証に関する情報

詳しくは製品添付の保証書をご覧ください。

## 安全に関する重要な情報

本マニュアルでは、火災、感電および人員の負傷に関して継続的に実施すべき予防措置について説明しています。本器具の組立、取付、操作を行う前に、本マニュアルの説明を全てお読みください。

本マニュアルでは、メッセージを判りやすく伝えるため、以下の国際的な注意・警告記号を欄外に表示しています。



注意を促すメッセージの横には、この記号を表示します。このメッセージを無視した場合、人員の負傷または器具の損傷を生じる恐れがあります。



高電圧を示す警告メッセージの横には、この記号を表示します。このメッセージを無視した場合、人員へ深刻な負傷を生じる恐れがあります。

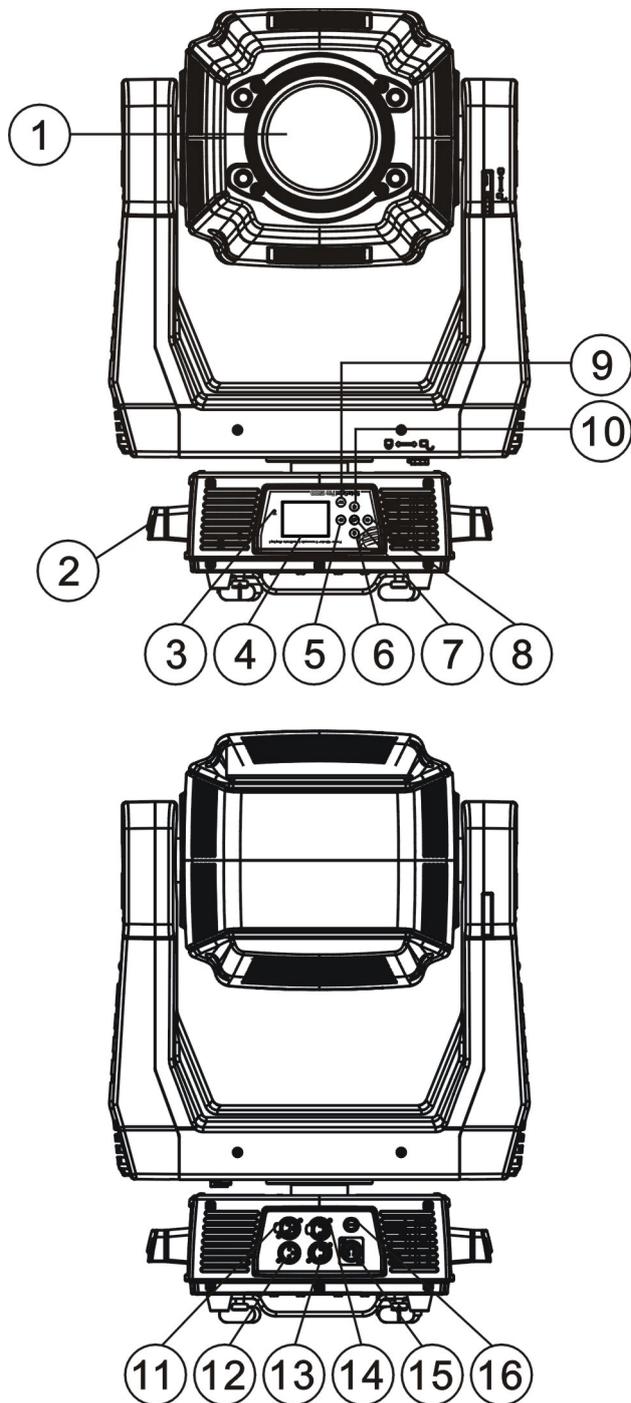


この記号が表示されている場合には、可燃物の表面やその近傍に器具を取り付けないでください。



この記号は、器具の操作中にその表面が高温に達するおそれがあることを示します。器具に関する作業を行う場合には、必ず時間を置き、器具の温度が下がってから行うようにしてください。

## 器具概要



1. レンズ
2. ハンドル
3. マイクロフォン
4. ディスプレイ
5. Left (左) ボタン
6. Down (下) ボタン
7. Enter (確定) ボタン
8. Right (右) ボタン
9. Mode/Esc (モード / エスケープ) ボタン
10. Up (上) ボタン
11. 5ピン DMX 出力
12. 5ピン DMX 入力
13. 3ピン DMX 出力
14. 3ピン DMX 入力
15. 電源入力
16. ヒューズ

## 主な仕様と機能

- DMX チャンネルモード: 48 チャンネル
- マスター / スレーブ機能付きのスタンドアロン動作、内蔵マイクロフォンによるサウンド動作
- Pan と Tilt の動作: スムーズで正確な動作のための 8 または 16 ビット解像度
- 動作範囲: Pan 540° Tilt 265°
- Pan と Tilt の動作速度調整可能
- スキャン位置記憶、予期せぬ動作後の自動位置復帰
- カラー: 6 色のダイクロミラー付き基本カラーホイール+ホワイト、2 方向のレインボーエフェクト
- 無限のカラーを実現する CMY と CTO 可変カラーミキシング
- 回転ゴボ: 6 種の交換可能な回転ゴボ+オープン
- 7 種の交換可能なゴボホイール+オープン、異なった速度でのゴボシェイク
- ディマーインテンシティ 0% ~ 100%
- プリズムとプリズム回転、16 種のマクロ付き
- アイリス 5% ~ 100%、パルスアイリスエフェクト可能
- 滑らかなフロスト、0% ~ 100% リニア可変フロスト
- フルカラー LCD グラフィック付きコントロールボードとタッチキーボード
- ディスプレイ: 異なった設置位置に適応するために 180° 反転可能
- ストロボ/シャッター: ハイスピードシャッター、0 ~ 13Hz またはランダムストロボ
- 再充電可能なディスプレイ用バックアップバッテリー、外部電源不要、アドレス設定またはその他の機能設定のためにメニューディスプレイを操作可能
- オプションアクセサリを使用して DMX ライン経由でソフトウェアアップデート

## 安全に関する注意事項



注意：本章に記載の情報は、いずれも資格を有する職員をサポートするための情報です。



警告：修理を行う前に電源の接続を外してください。ヒューズを交換する際には、必ず指定のタイプ・定格の製品を使用してください。



注意：LED 放射を生じるクラス 2 LED 製品です。ビームを直視しないでください。  
注意：器具を設置する際には、3メートル以内の距離から器具を長時間直視することがないように位置を調整してください。



本器具は、完璧な状態で工場から出荷されています。この状態を維持し、安全な操作を確実に実施するため、ユーザーは安全説明書、ならびに本ユーザーマニュアルに記載の注意事項を必ず遵守してください。

### 重要注意事項

本ユーザーマニュアルの内容を無視したことによって生じた損傷については、保証の対象外となります。輸入代理店・特約店では、上記による欠陥もしくは問題に関する責任を負いません。

- ・ 器具が環境の変化に伴う温度変化に晒された場合には、時間をおいてから電源を入れてください。凝結が生じた場合、器具が損傷するおそれがあります。器具の温度が室温に達するまで、電源を切った状態で放置してください。
- ・ 本器具は、保護クラス I に分類されています。したがって、器具を必ず接地してください。
- ・ 電気接続作業については、必ず資格を有する職員が実施してください。
- ・ 定格範囲内の電圧が利用可能であることを確認してください。
- ・ 電源コードが圧迫されていないこと、または鋭利な物品によって損傷していないことを必ず確認してください。ケーブルが損傷している場合には、ただちに交換してください。ケーブルの交換作業は、公認特約店以外は行うことができません。
- ・ 器具を使用しない場合や、クリーニングを行う前には、必ず電源との接続を外してください。電源コードを抜き差しする際には、必ずプラグを持つようにしてください。プラグを抜く際には、絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- ・ 手作業による変更を原因として損傷が生じた場合、保証が無効となりますので注意してください。
- ・ 子供や一般人が近づかないようにしてください。

## メンテナンス

- 器具内部の部品を修理することはできません。メンテナンスを目的として器具の点検を行う際には、必ず以下の項目について検討してください。
- 器具または器具の部品を取付けているネジは、全てしっかりと接続してください。また腐食したネジを使用しないでください。
- 機械的可動部品による摩耗跡が生じないようにしてください。またバランスが不安定な状態で回転させないでください。
- 電源ケーブルの損傷や材料疲労を防止してください。また汚れが付着しないようにしてください。

## 一般的なガイドライン

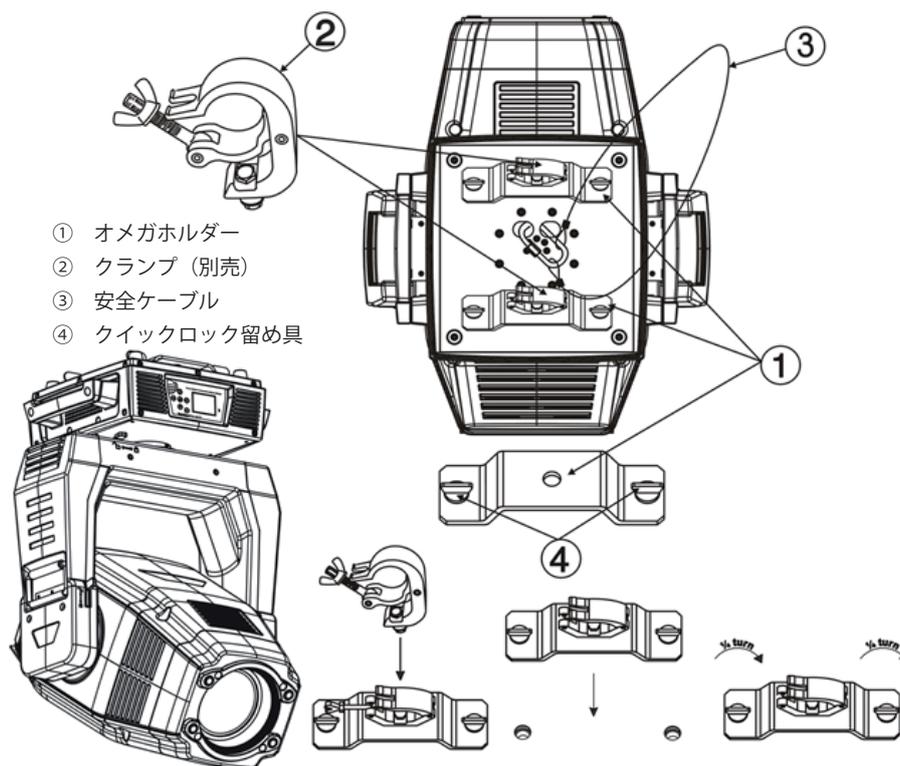
- 本器具は業務用として、ステージやシアター、その他の専用設備などに照明効果を与えるものです。器具を屋外で使用しないでください。
- 器具を操作する際には、必ず器具に記載の技術仕様に定める最大交流電流を使用してください。
- 長時間の照明用として、器具の照明効果を利用しないでください。こまめに照明を中断することにより、器具を故障させることなく、確実に長期間使用することができます。
- 器具に振動を与えないでください。器具を設置または操作する際には、強い力を与えないでください。
- 設置場所を選択する際には、器具が極度の高温や湿気、埃に晒されないことを確認してください。可燃性物質にビームを照射しないでください。プロジェクターの光出力装置と照射面との間隔を、必ず 0.1 メートル以上離してください。
- クイックロックカムを使用して器具を吊下げる場合には、クイックロック留め具がクイックロックホールに正しく嵌められていることを確認してください。
- 必ず器具の機能を十分に把握した上で、器具を操作してください。器具を操作する資格を有していない人物による操作を許可してはなりません。ほとんどの損傷は、資格を有していない人物による操作を原因として生じています。
- 器具を輸送する場合には、器具の出荷時に使用していた専用の梱包材・ケースを使用してください。
- 安全上の理由から、器具に変更を加える行為は一切禁止されていることに注意してください。
- 本マニュアルに記載されている方法とは異なる方法を用いて本器具を操作した場合、製品が損傷するおそれがあります。その場合、保証が無効となります。またその他の操作により、短絡、火傷、感電、ランプの爆発、破裂などが生じるおそれがあります。

## 設置手順

- 器具を取付ける際には、必ず予備の安全器具（適切な安全ケーブルなど）を併せて使用し、固定してください。
- 器具の取付、取外し、修理を行う際には、絶対に器具の真下に立たないでください。
- オペレータは、器具を現場で初めて使用する前に、安全面と技術面に関する指示が専門家による承認を受けたものであることを必ず確認してください。
- 必ず年1回、専門職員による設置個所の点検を実施してください。
- 頭上への取付作業を行う際には、特に使用加重限度の計算や使用する設置材、全ての設置材・器具の定期安全点検などに関する豊富な経験が必要となります。これらの資格を有していない方は、設置作業を行わないでください。設置作業を正しく行わない場合、重傷を負うおそれがあります。

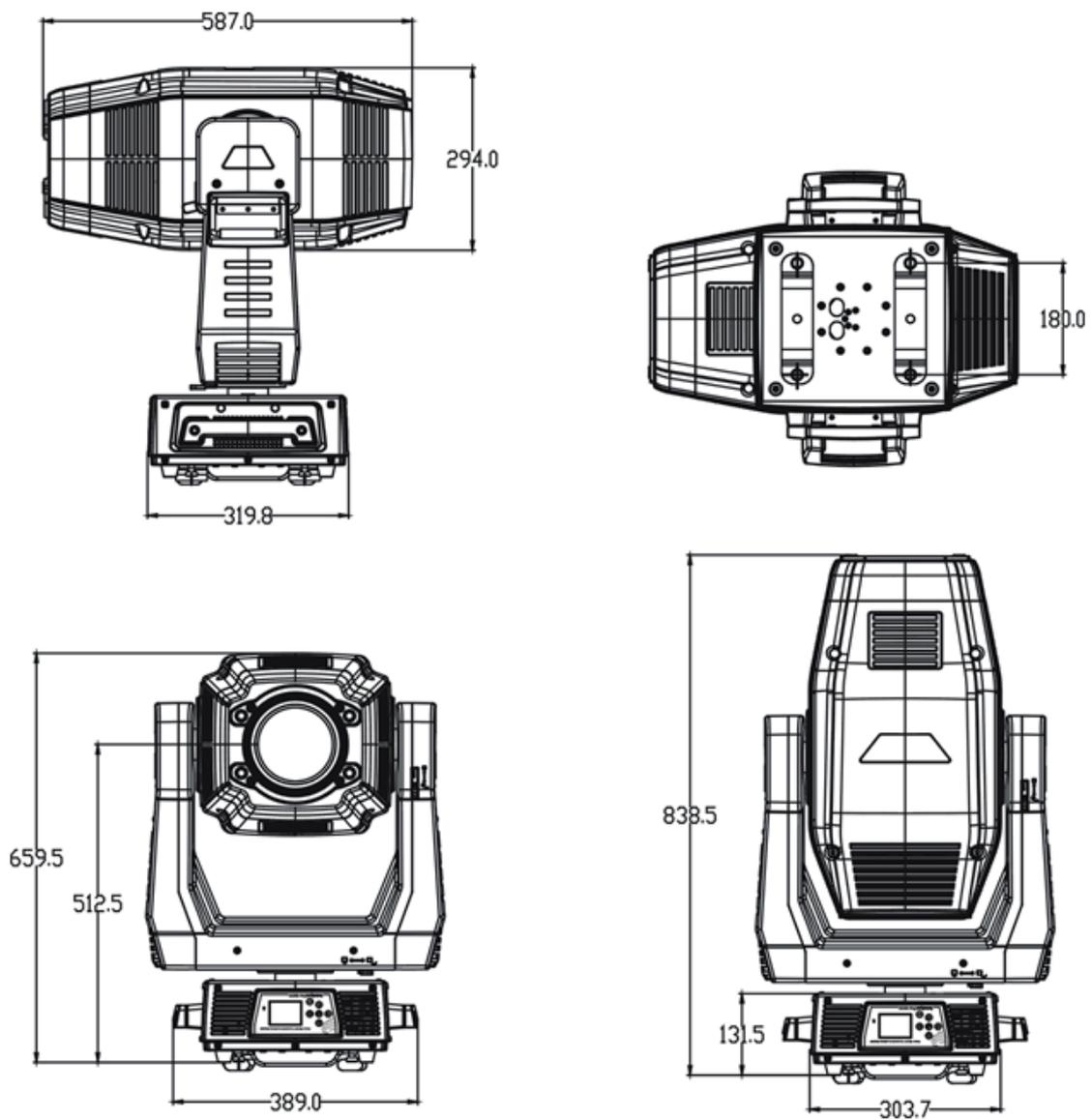
## 取付具に関する指示

- ブラケットにオメガクランプを取付ける際には、ブラケット中央の穴にブラケットの M12 ボルトを締付けます。
- ブラケットのクリックロック留め具を、器具の底部にあるそれぞれの穴に挿入します。
- クイックロック留め具を時計回りに完全に締付けます。
- 2 個目のオメガクランプを設置します。
- 土台の底部にある穴を通して安全ケーブルを取付けます。トラスシステムなどの安全固定個所に取付けます。
- 安全ケーブルが完全に輪になっていること、ならびにクイックリンクを取付け、完全に締付けていることを確認します。
- 頭上に持ち上げる前に、全ての取付具を点検します。



## 外形寸法図

単位：mm



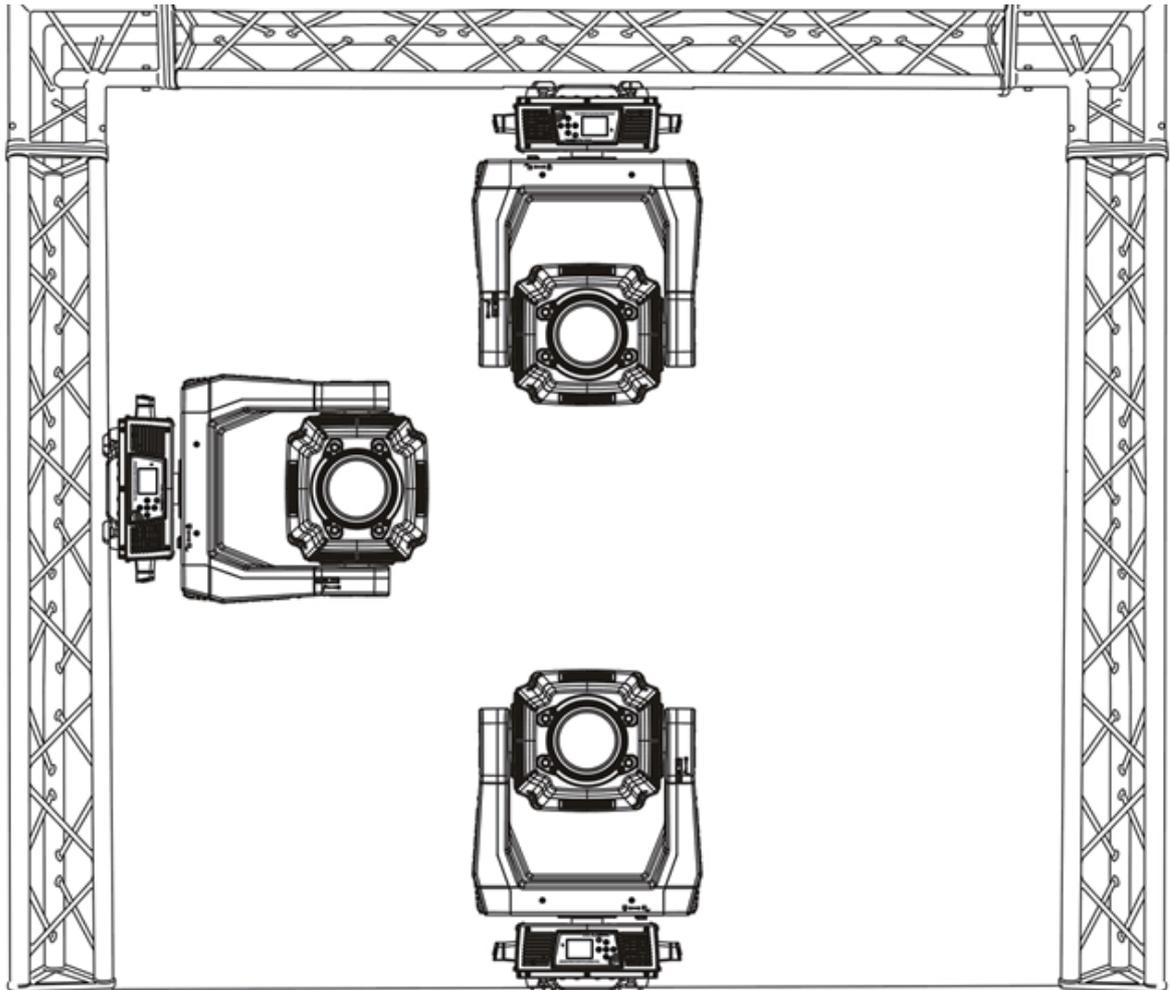
## 設置方向

本器具を取り付ける際には、必ず可燃物（舞台装置など）から0.5メートル（1.6フィート）以上離してください。  
クランプが不適切に取り付けられるか取り付けに失敗した場合に、偶発的な損傷および/または損傷が発生することを防止するための安全対策として、常に製品に付属している安全ケーブルを使用し設置を行ってください。

頭上への吊り込み設置には、他の機器などとの間で使用荷重計算や使用されている設備の材料の適切な知識など、豊富な経験が必要とします。

そしてすべての設置された装置と器具の定期的な安全点検が必要です。

もしこれらの資格を持っていない場合は、自身で設置しようとししないでください。不適切な設置は人身事故につながる可能性があります。



## 器具をリンクさせる

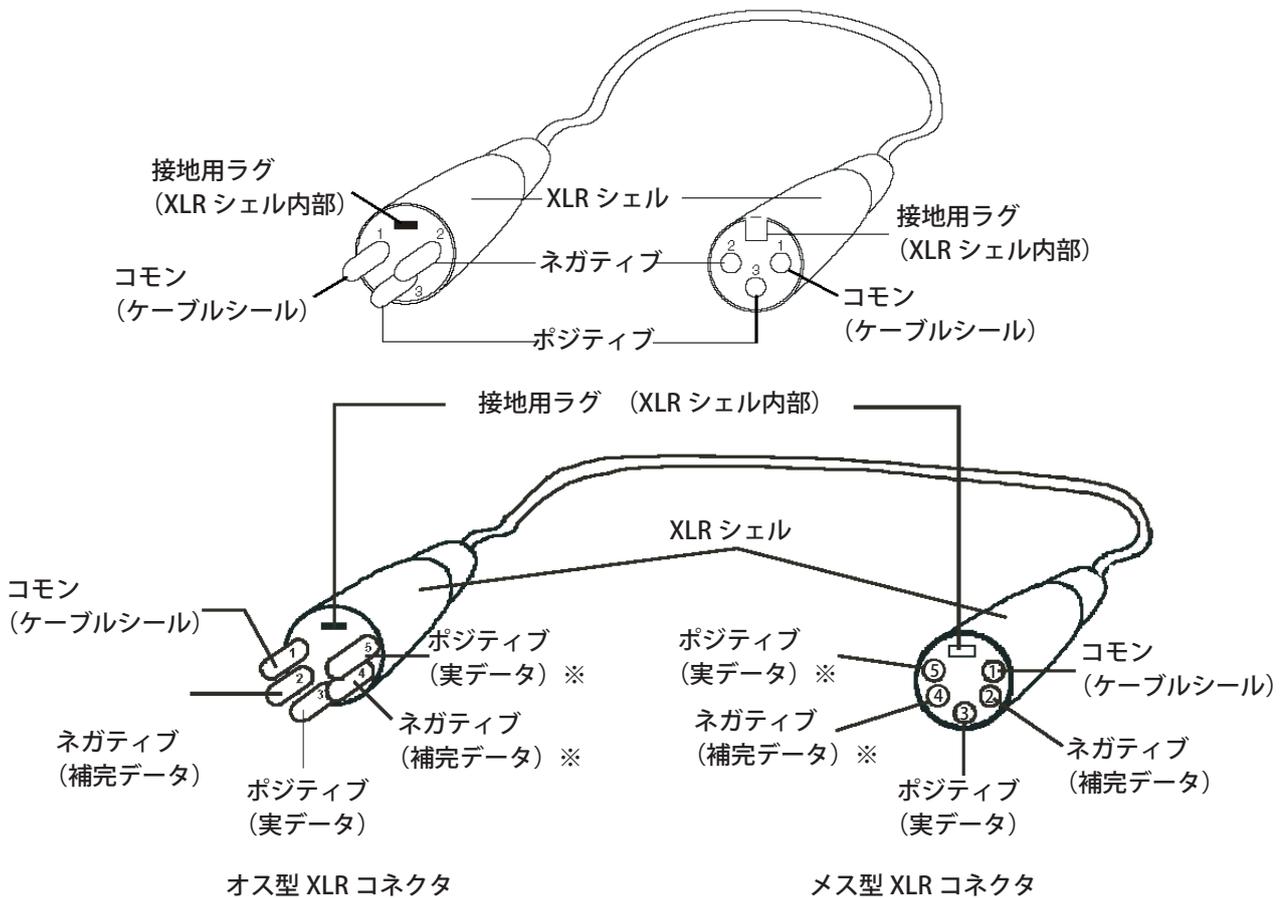
SolaSpot Pro 1500 は、標準 DMX512 リンク上で動作します。その制御は DMX コンソールで行います。リンク上の器具の数は、全ての器具が必要とするチャンネル数の合計によって決まります。標準 DMX512 リンク上では、SolaSpot Pro 1500 1 台につき 48 チャンネルが必要となります。

データグレードケーブルと 5 ピン / 3 ピン XLR ケーブルコネクタを使用して、器具をリンクに接続します。

### ケーブルコネクタ

SolaSpot Pro 1500 では、3 ピン XLR ケーブルコネクタと 5 ピン XLR ケーブルコネクタの双方を使用することができます。必ず一方の端子がオス型 XLR コネクタ、もう一方の端子がメス型 XLR コネクタになっているケーブルを使用してください。

注：5 ピンケーブルコネクタのピンのうち、4 番目と 5 番目のピンは使用しません。ただし、このピンを予備のデータリンクとして使用し、器具にデータを送信することができます。



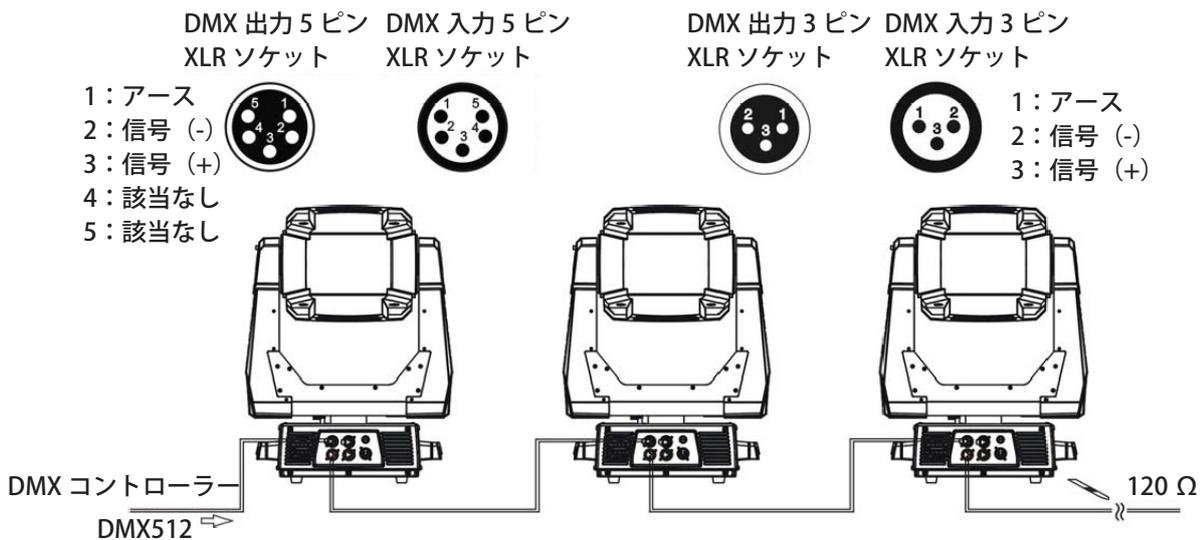
※本器具では、このデータラインは使用しません。  
ただし、このピンを使用して本器具を通過するデータを送信することができます。

電圧／抵抗計（VOM）を使用して各ケーブルの検査を行い、極性が正しいことを確認してください。またネガティブピンとポジティブピンが接地しておらず、もしくはシールドや他のピンと短絡していないことを確認してください。

注：XLR コネクタの接地用ラグには何も接続しないでください。コモン（ケーブルシールド）と器具のケースアースとの間を接続したり、接触させたりしないでください。コモンを接地した場合、接地ループまたは誤動作を生じるおそれがあります。

## リンクを接続する

1 台または複数の器具を DMX コントローラにリンクさせるには、次の作業を行います。



1. DMX データケーブルのオス型 XLR コネクタを、コントローラの「DMX Data Out」コネクタに接続します。
2. データケーブルのメス型 XLR コネクタを、DMX リンク上の最初の（または次の）器具の「Data In」コネクタに接続します。
3. リンク上の各器具の「Data Out」コネクタと、次の器具の「Data In」コネクタをケーブルで接続し、残りの器具を続けてリンクさせます。

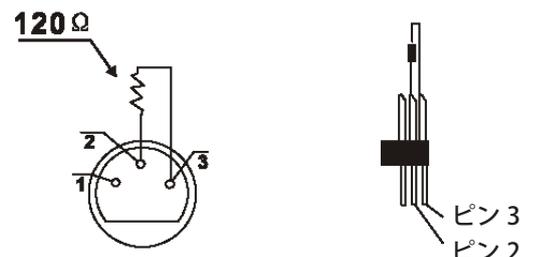
## DMX のターミネーション（末端処置）

距離の長い DMX ケーブルを使用して設置しなければならない場合や、電気的なノイズが発生しやすい環境に設置する場合には、リンク上の末端の器具に DMX ターミネータを接続してデータ反射を防止します。データ反射が生じた場合、リンク上のデータ通信にエラーが生じるおそれがあります。

各 DMX リンクの末端の器具の「Data Out」(メス型) ケーブルコネクタに 120 オーム、1/4 ワット（最小値）のターミネータを取り付け、リンクの終端とします。

以下のようにターミネータを作製します。

1. オス型 3 ピン XLR コネクタまたはオス型 5 ピン XLR コネクタを分解します。
2. ピン 2 とピン 3 の間に 120 オーム抵抗器（1/4 ワット以上）をはんだ付けします。
3. XLR コネクタを組み立て直します。



## DMX スタートアドレス

すべての器具で、コントローラの信号に対して個別に正確な反応をするためには、固有のスタートチャンネル番号を設定する必要があります。この DMX スタートアドレスは、DMX コントローラから送られてくるデジタル制御情報を器具が「受信」を開始するチャンネル番号を表しています。このスタートアドレスの設定は、デバイスのベース部に位置するディスプレイ上で正確な番号を設定することによって確定されます。

同じスタートアドレスをすべての器具または器具のグループに対して設定することができます。または、それぞれ個別の器具に異なるアドレスを使用することもできます。

もし同じアドレスを設定した場合、すべての器具は同じチャンネル番号から同じ制御信号を「受信」し始めます。言い換えると、同じチャンネルの設定に変更すると、同時にすべての器具へ影響を及ぼします。

もし異なるアドレスに設定した場合、それぞれの器具は器具の制御チャンネル数に基づいて設定したチャンネル番号から「受信」し始めます。これを重複しないチャンネルの設定に変更すると、選択した器具にだけ影響を及ぼします。

ムービングヘッドの場合、48 チャンネルの器具では、最初の器具のスタートアドレスを 1 に設定し、2 台目の器具を 49 (48+1)、3 台目を 97 (48+49)、以下同様に設定するようにしてください。

## 器具のコントロールボード

コントロールボードは、様々な機能を提供します。例えば、簡単にスタートアドレスを設定したり、プログラム済みのプログラムを実行したり、リセットを実施します。

メインメニューは、ディスプレイが点滅し始めるまで [Mode/Esc] を押すことによって使用することができます。[Up] ボタン、[Down] ボタン、[Left] ボタン、[Right] ボタンを押すことでメニューを閲覧します。

希望のメニューを選択するには、[Enter] ボタンを押します。方向ボタン（[Up] ボタン、[Down] ボタン、[Left] ボタン、[Right] ボタン）を押すことによって選択を変更することができます。

すべての選択において確定するには、[Enter] ボタンを押します。

すべてのモードを抜ける、または内部バッテリーを利用してディスプレイメニューを使用するには、[Mode/Esc] ボタンを 3 秒間押してください。

提供される機能は、以下の章で説明しています。最後にボタンを押してから点滅して 10 秒経過後に自動的にメニューを終了します。編集モードの状況下でこのボタンを押してください。提供される機能は、以下の表に説明が記載されています。



注： ディスプレイ表示を反転（Flip Display）した場合、ボタンの配置が入れ替わります。

メニュー		設定	説明／備考
Address	A001 ~ AXXX		DMX アドレスの設定
Info	Time Info.	Currnt Time	XXXX h (時間) 電源を入れてからの動作時間
		Ttl Life Hrs	XXXX h (時間) 器具の合計動作時間
		Last Run Hrs	XXXX h (時間) 最新の動作時間
		LED Hours	XXXX h (時間) LED の点灯時間
		Timer PIN	Password = XXX 動作時間パスワードの設定 パスワード = 038
		Clr Last Run	ON/OFF 最新の動作時間をリセット デフォルト = OFF
		LEDTimePassword	Password = XXX LED パスワードの設定 パスワード = 038
		Clean LED Time	ON/OFF LED の点灯時間をリセットする デフォルト = OFF
	Value Disp	NONE	DMX 制御
		ALL, PAN, ...	DMX 値の表示
Head Temp	XXX °C / °F	ヘッド内の温度表示 (単位: 摂氏または華氏)	
Software Ver	Ver1.0.0 ...	IC のソフトウェアバージョンを表示	

メニュー		設定		説明/備考
Set	Status	No DMX Mode	Close/Hold/Auto/Music	DMX が無信号時の自動実行モード
		Pan Reverse	ON/OFF	パンの動作方向を反転 デフォルト = OFF
		Tilt Reverse	ON/OFF	ティルトの動作方向を反転 デフォルト = OFF
		Pan Degree	630/540	パンの動作範囲選択 (単位: 度) デフォルト = 540
		Encoders	ON/OFF	動作フィードバックスイッチ デフォルト = ON
		Pan/Tilt Spd	Speed 1 ~ 4	動作モード選択 1 (最速) ~ 4 (最遅) デフォルト = Speed 1
		Mic Sens	0 ~ 99%	マイク感度
		Hibernation	OFF, 01m ~ 99m	スタンバイモードへ移行するまでの時間設定 (分) デフォルト = 15m
	Defogger	Defog OnOp, Defog OnPwr, Defog Off	レンズデフォッグシステムの設定 デフォルト = Defog OnOp	
	Service PIN	Service PIN	Password = XXX	RDM PID を設定するためのパスワード = 050
		RDM PID	xxxxxx	RDM PID コードの設定
	Disp. Settings	Shutoff Time	02 ~ 60m	ディスプレイが自動消灯するまでの時間 (分)。デフォルト = 2m
		Flip Display	ON/OFF	ディスプレイ表示を 180 度反転 デフォルト = OFF
		Key Lock	ON/OFF	メインメニューの誤操作防止のキーロック デフォルト = OFF
Temp. C/F	Celsius		摂氏と華氏の温度表記変更 デフォルト = Celsius	
	Fahrenheit			
Reset Default	ON/OFF		工場出荷時の設定に復元 デフォルト = OFF	
Test	Home	ALL		すべてのモーターをリセット
		Pan & Tilt		パン・ティルトをリセット
		Colors		カラーホイールをリセット
		Gobos		シャッターとディマー、またはどちらかをリセット
		Others		その他のモーターをリセット
	Test Channel	PAN...		チャンネルのテスト機能
	Manual Ctrl	PAN = XXX ...		器具の微調整に使用する手動制御
Calibration	-Password-		キャリブレーション設定をするためのパスワード = 050	
	Color wheel=XXX ...		各種機能を標準位置または正しい位置へキャリブレーションと調整	
Preset	PlayBack	DMX Control		DMX 制御
		Set To Slave	Slave1, Slave2, Slave3	スレーブ設定
		Auto Program	Master / Alone	自動プログラム
		Music Ctrl.	Master / Alone	音感制御
	Select Prog.	Prog. Part 1 = Program 1 ~ 10		実行するプログラムを選択 デフォルト Prog. Part 1 = Program 1 Prog. Part 2 = Program 2 Prog. Part 3 = Program 3
		Prog. Part 2 = Program 1 ~ 10		
		Prog. Part 3 = Program 1 ~ 10		
	Edit Prog.	Program 1 ... Program 10	Program Test Step 01 = SCxxx Step 64 = SCxxx	プログラムをテスト ループ内でプログラム 保存して終了
		Edit Scenes	Edit Scene 001 ~ Edit Scen 250	Pan, Tilt...
	--Fade Time-- --Scene Time--			
Input By outside				
Scenes Input	XX ~ XX		自動シーン記憶	

## コントロールボードの機能

### Address (DMX のスタートアドレス設定)

この機能では、コントロールボードを使用して希望の DMX スタートアドレスを設定することができます。

1. 「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. 「Address」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Address」に合わせます。
3. 「Enter」 ボタンを押します。ディスプレイに現在のアドレスが表示されます。
4. 「Up/Down」 ボタンを押すと、「Adress 001 ~ XXX」の様にスタートアドレスが表示されます。
5. 「Enter」 ボタンで確定するか「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Time Info (時間情報)

Current Time (現在の使用時間)

この機能では、器具の電源を入れてからの一時的な動作時間を表示させることができます。ディスプレイには「XXXX h」と表示され、XXXX は時間を表します。このカウンターは、器具の電源を落とすとセットされます。

1. 「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」 ボタンを押すと、「Current Time」が表示されます。赤い\*マークを「Current Time」に合わせます。
3. 「Enter」 ボタンを押すと、ディスプレイには「Current Time」が表示されます。
4. ディスプレイに XXXX h (時間) が表示されます。
5. 「Enter」 ボタンで確認するか「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Ttl Life Hrs (合計稼働時間)

この機能では、器具の合計稼働時間を表示することができます。ディスプレイには「XXXX h」と表示され、XXXX は時間を表します。

1. 「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」 ボタンを押すと、「Ttl Life Hrs」が表示されます。赤い\*マークを「Ttl Life Hrs」に合わせます。
3. 「Enter」 ボタンを押すと、ディスプレイには「Ttl Life Hrs」が表示されます。
4. ディスプレイに XXXX h (時間) が表示されます。
5. 「Enter」 ボタンで確認するか「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Last Run Hrs (最新の稼働時間)

この機能では、最新の稼働時間を表示することができます。ディスプレイには「XXXX h」と表示され、XXXX は時間を表します。

1. 「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」 ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」 ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」 ボタンを押すと、「Last Run Hrs」が表示されます。赤い\*マークを「Last Run Hrs」に合わせます。
3. 「Enter」 ボタンを押すと、ディスプレイには「Last Run Hrs」が表示されます。
4. ディスプレイに XXXX h (時間) が表示されます。
5. 「Enter」 ボタンで確認するか「Mode/Esc」 ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## LED Hours (LEDの点灯時間)

この機能では、LEDの合計点灯時間を表示することができます。ディスプレイには「XXXX h」と表示され、XXXXは時間を表します。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「LED Hours」が表示されます。赤い\*マークを「LED Hours」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「LED Hours」が表示されます。
4. ディスプレイにXXXX h (時間)が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Timer PIN (タイマーパスワード)

この機能では、タイマーパスワードを表示します。Clr Last Run で時間記録を消去するには、最初にこのメニューでタイマーパスワード 038 を入力します。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Timer PIN」が表示されます。赤い\*マークを「Timer PIN」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Timer PIN」が表示されます。タイマーパスワードは 038 です。
4. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Clr Last Run (器具の稼働時間のクリアー)

この機能では、器具の最新稼働時間をクリアーすることができます。ディスプレイには、「OFF」または「ON」と表示され、「Enter」ボタンを押すと確定します。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Clr Last Run」が表示されます。赤い\*マークを「Clr Last Run」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押します。ディスプレイには、「Clr Last Run」が表示されます。「Password Error!」と表示されたらTimer PINの入力をしてください。
4. ディスプレイには「OFF」または「ON」が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## LEDTimePassword (LED点灯時間のパスワード)

この機能では、LED点灯時間クリアーのためのパスワードを表示します。Clean LED Time で時間記録を消去するには、最初にこのメニューでタイマーパスワード 038 を入力します。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「LEDTimePassword」が表示されます。赤い\*マークを「LEDTimePassword」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「LEDTimePassword」が表示されます。タイマーパスワードは 038 です。
4. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Clean LED Time (LED 点灯時間のクリアー)

この機能では、器具の LED 点灯時間をクリアーすることができます。ディスプレイには、「OFF」または「ON」と表示され、「Enter」ボタンを押すと確定します。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。「Time Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Time Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Time Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Clean LED Time」が表示されます。赤い\*マークを「Clean LED Time」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押します。ディスプレイには、「Clean LED Time」が表示されます。「Password Error!」と表示されたら LEDTimePassword の入力をしてください。
4. ディスプレイには「OFF」または「ON」が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Value Displayed (DMX 値の表示)

ALL, PAN… (全体、パンなど)

この機能では、各チャンネルの DMX512 の値を表示することができます。ディスプレイは自動的にそのチャンネルの変化する値を表示し続けます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Value Disp」が表示されます。赤い\*マークを「Value Disp」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Value Disp」が表示されます。
4. 「Up/Down」ボタンを押して、それぞれのチャンネルを選択します。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Head Temp. (ヘッド内温度)

この機能では、ベースのディスプレイボード上にヘッドの温度 (CMY フィルター付近) を表示することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Head Temp」が表示されます。赤い\*マークを「Head Temp」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Head Temp」が表示されます。
4. ディスプレイには「XXX° C/° F」のように温度が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Software Ver (ソフトウェアバージョン)

この機能では、器具のソフトウェアバージョンを表示することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Info」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Info」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Info」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Software Ver」が表示されます。赤い\*マークを「Software Ver」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Software Ver」が表示されます。
4. ディスプレイには「Ver x.x」のようにバージョンが表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Set

### Status

#### No DMX Mode (DMX 無信号状態時のモード)

この機能では、DMX 信号によって器具が動作していない場合、自動プログラムが実行されるか (Auto)、シャッターを閉じるか (Close)、現状を維持するか (Hold)、音感動作になるか (Music) 選択することができます。デフォルト (標準設定) は、Hold です。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「No DMX Mode」が表示されます。赤い\*マークを「No DMX Mode」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「No DMX Mode」が表示されます。
4. ディスプレイに、「Hold」が表示されます。「Up/Down」ボタンを押して「Close」、「Auto」、「Music」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

#### Pan Reverse (パンの反転動作)

この機能では、パンの動作方向を反転させることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Pan Reverse」が表示されます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Pan Reverse」が表示されます。赤い\*マークを「Pan Reverse」に合わせます。
4. ディスプレイには、「OFF」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「ON」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

#### Tilt Reverse (ティルトの反転動作)

この機能では、ティルトの動作方向を反転させることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Tilt Reverse」が表示されます。赤い\*マークを「Tilt Reverse」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Tilt Reverse」が表示されます。
4. ディスプレイには、「OFF」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「ON」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Pan Degree (パンの動作範囲設定)

この機能では、パンの動作範囲を 540 度と 630 度の 2 種類から選択することができます。デフォルトは 540 度です。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Pan Degree」が表示されます。赤い\*マークを「Pan Degree」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Pan Degree」が表示されます。
4. ディスプレイには、「540°」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「630°」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Encoders (エンコーダー)

この機能では、パンとティルト動作のフィードバックを切り替えることができます。OFF に設定すると位置がずれても戻りません。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Encoders」が表示されます。赤い\*マークを「Encoders」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Encoders」が表示されます。
4. ディスプレイには、「ON」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「OFF」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Pan/Tilt Spd (パン・ティルトのスピード)

この機能では、スキャンモード(動作スピード)を 1～4 から選択することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Pan/Tilt Spd」が表示されます。赤い\*マークを「Pan/Tilt Spd」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Pan/Tilt Spd」が表示されます。
4. ディスプレイには、「Speed 1」(最速)が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「Speed 2」「Speed 3」「Speed 4」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Mic Sens. (マイク感度)

この機能では、デフォルトで 70% に設定してあるマイク感度を 0% から 99% までの間で、希望の設定を選択することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Mic Sens」が表示されます。赤い\*マークを「Mic Sens」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Mic Sens」が表示されます。
4. ディスプレイには、「70%」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「0～99%」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Hibernation (スタンバイモード)

この機能では、スタンバイへの移行時間を設定します。器具への DMX 信号が 15 分間 (ファクトリーデフォルト設定) 途切れると、ランプとステッピングモーターは電源が切れます。そして器具は再び DMX 信号を受信したら、動作開始前にリセットを行います。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Hibernation」が表示されます。赤い\*マークを「Hibernation」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Hibernation」が表示されます。
4. ディスプレイには、「15m」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「01m」、「02m」、…「99m」、または「OFF」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Defogger (レンズデフォッグシステム)

この機能は、レンズデフォッグシステム (レンズの曇り止) を設定します。Defog OnOp に設定されると DMX 信号を受信している時に機能が有効になり、Defog Pwr に設定されると電源が入っている時は常に機能が有効になります。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Status」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Status」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Status」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Defogger」が表示されます。赤い\*マークを「Defogger」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Defogger」が表示されます。
4. ディスプレイには、「Defog OnOp」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「Defog off」、「Defog Pwr」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Service PIN (サービス PIN)

Service PIN——この機能を使用するためのパスワードは「050」です。入力することで RDM ID の設定が可能になります。

RDM PID—— RDM システムの技術的な機能を利用するためには、それぞれの器具は唯一の RDM PID を持つ必要があります。この固有の識別番号は、コントローラーが個々の器具を管理するために使われます。

同一の DMX ケーブル上で、重複する RDM PID は存在することができません。そうするとデータの不一致が発生し、コントローラーはこの問題を通知する可能性があります。

もし RDM の機能を使用するなら、すべての器具が固有の RDM PID を持つように確認してください。

もし DMX スプリッターが使用され、RDM コントロールが使用されるなら、それらのスプリッターも RDM に対応する必要があります。

RDM の数値と機種パラメーターは、使用される RDM コントローラーに依存します。

RDM PID を設定するには、次の通りメニューを移動します：

Set -> Service Settings -> Service PIN、「UP」ボタンを押して 050 を選択、そして「ENTER」ボタンを押します。

RDM PID へ移動してから：

「Up/Down」ボタンを押してそれぞれの器具用に固有の ID を選択して設定します。そして「Enter」ボタンを押して確定させます。

## Disp.Setting (ディスプレイ設定)

### Shutoff Time (消灯時間)

この機能では、2～60分後にカラーLCDディスプレイを消灯させることができます。希望の消灯時間を選択するためには、ボタンを操作します。デフォルト設定は2分です。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Disp.Setting」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Disp.Setting」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Disp.Setting」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Shutoff Time」が表示されます。赤い\*マークを「Shutoff Time」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Shutoff Time」が表示されます。
4. ディスプレイには、「02m」(2分)が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「02m」…「60m」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Flip Display (ディスプレイの回転)

この機能では、ディスプレイの表示を180度回転することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Disp.Setting」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Disp.Setting」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Disp.Setting」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Flip Display」が表示されます。赤い\*マークを「Flip Display」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Flip Display」が表示されます。
4. ディスプレイには、「OFF」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「ON」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Key Lock (ボタンの誤操作防止)

この機能では、自動的にキーロック状態を有効にすることができます。もしこの機能が有効化されていると、キー(ボタン)は編集モードを終了して40秒後に自動的にロックされます。この機能を解除する場合は、「Mode/Esc」ボタンを3秒間押し続けます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。「Disp.Setting」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Disp.Setting」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Disp.Setting」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Key Lock」が表示されます。赤い\*マークを「Key Lock」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Key Lock」が表示されます。
4. ディスプレイには、「OFF」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「ON」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Temp. C/F (温度表示)

この機能では、温度表示を摂氏または華氏から選択することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Temp. C/F」が表示されます。赤い\*マークを「Temp. C/F」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Temp. C/F」が表示されます。
4. ディスプレイには、「Celsius」(摂氏)が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「Fahrenheit」(華氏)を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## ResetDefault (デフォルトへリセット)

この機能では、工場出荷時の設定へ復元するために「ON」か「OFF」を選択することができます。デフォルトは「OFF」です。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Set」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Set」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「ResetDefault」が表示されます。赤い\*マークを「ResetDefault」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「ResetDefault」が表示されます。
4. ディスプレイには、「OFF」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して「ON」を表示させます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Test

### Home(ホーム・リセット動作)

この機能では、コントロールボードを使用して器具のホーム・リセットをすることができます。メニューを操作することで異なったリセット機能を選択することもできます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Test」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Test」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Test」が表示されます。「Home」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Home」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Home」が表示されます。
2. ディスプレイには、「All」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押すと、「Pan&Tilt」、「Colors」、「Shutter」、「Others」が表示されます。
3. 「Enter」ボタンで確定し実行するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Test Channel (チャンネル個別のテスト)

この機能では、個々のチャンネルの正確な機能をテストすることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Test」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Test」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Test」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Test Channel」が表示されます。赤い\*マークを「Test Channel」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Test Channel」が表示されます。
4. ディスプレイには、最初のチャンネルとして「Auto Program」が表示されています。「Up/Down」ボタンを押して他のチャンネルを選択しテストを実行します。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Manual Ctrl (手動制御)

この機能では、簡単に器具の調整をすることができます。すべてのエフェクトがキャンセルされ、シャッターが開きディマーインテンシティが100%に設定されます。個々の機能では、壁などの平坦な面にライトを照射することができ、器具の微調整をすることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Test」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Test」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Test」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Manual Ctrl」が表示されます。赤い\*マークを「Manual Ctrl」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Manual Ctrl」が表示されます。
4. ディスプレイには、各チャンネルが表示されています。調整したいチャンネルを選択して「Enter」ボタンを押し「Up/Down」ボタンで調整します。
5. 「Enter」ボタンで確認するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Calibration (キャリブレーション)

この機能では、エフェクトホイールなどを正確な位置へキャリブレーションして調整することができます。キャリブレーションのパスワード値は 050 です。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Test」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Test」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Test」が表示されます。
2. 「Up/Down」ボタンを押すと、「Calibration」が表示されます。赤い\*マークを「Calibration」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Calibration」が表示されます。
4. ディスプレイには、「Password」が表示されています。「Enter」ボタンを押してから「Up/Down」ボタンで 050 を入力します。調整したチャンネルを選択してキャリブレーションを実行します。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Preset (プリセット)

このメニューでは、異なったシーケンスによって異なったチャンネルリストを選択することができます。

たとえば、ユーザーがこのマニュアルを入力後、Auto Program=CH22 を選択した場合、このユーザーモードにおいて意味するのは、「Dimmer」はチャンネル 16 にあるということです。

## PlayBack (再生)

### DMX Control (DMX 制御)

この機能では、プリセット制御を解除して DMX 制御に戻ることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Preset」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Preset」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Preset」が表示されます。「PlayBack」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Play back」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「PlayBack」が表示されます。
2. 「DMX Control」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「DMX Control」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

### Set To Slave (スレーブモードの設定)

この機能では、器具のスレーブモードを決めることができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Preset」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Preset」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Preset」が表示されます。「PlayBack」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Play back」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「PlayBack」が表示されます。
2. 「Set To Slave」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Set To Slave」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Set To Slave」が表示されます。
4. 「Up/Down」ボタンを押し続けると、ディスプレイには「Slave1」、「Slave2」、「Slave3」が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Auto Program (自動プログラム)

この機能では、内蔵プログラムを実行することができます。「Select program」以下で希望のプログラムを選択することができます。「Edit program」以下でステップ数を設定することができます。「Edit scenes」以下で個々のシーンを編集することができます。この機能では、個々のシーンのいずれかを自動的に実行することができます。その場合、調整されたステップタイムを伴います。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Preset」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Preset」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Preset」が表示されます。「PlayBack」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Play back」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「PlayBack」が表示されます。
2. 「Auto Program」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Auto Program」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Auto Program」が表示されます。
4. 「Up/Down」ボタンを押し続けると、ディスプレイには「Master」、「Alone」が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Music Ctrl. (音感制御)

この機能では、音感制御で内蔵プログラムを実行することができます。

1. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューを表示させます。「Preset」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Preset」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「Preset」が表示されます。「PlayBack」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Play back」に合わせます。「Enter」ボタンを押すと「PlayBack」が表示されます。
2. 「Music Ctrl.」が表示されるまで「Up/Down」ボタンを押します。赤い\*マークを「Music Ctrl.」に合わせます。
3. 「Enter」ボタンを押すと、ディスプレイには「Music Ctrl.」が表示されます。
4. 「Up/Down」ボタンを押し続けると、ディスプレイには「Master」、「Alone」が表示されます。
5. 「Enter」ボタンで確定するか「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## Select Prog. (プログラムの選択)

この機能では、プログラム実行のためのプログラムを選択することができます。詳しくは30ページの「プリセットプログラミングとプレイバック」を参照してください。

## Edit Prog. (プログラムの編集)

この機能では、内蔵プログラムを編集することができます。詳しくは30ページの「プリセットプログラミングとプレイバック」を参照してください。

## Edit Scenes (シーンの編集)

この機能では、内蔵プログラムのシーンを編集することができます。詳しくは30ページの「プリセットプログラミングとプレイバック」を参照してください。

## Scenes Input (シーンの入力)

これは、DMX コントローラーからムービングヘッドへプログラムされたシーンを送出することによって実現された、DMX レコーダーが統合されたムービングヘッド機能です。エンコーダーボタン（～から～まで）によって希望のシーン番号を調整します。あなたのコントローラーでシーンを呼び出した時、それらは自動的にムービングヘッドへ送出されます。詳しくは30ページの「プリセットプログラミングとプレイバック」を参照してください。

## バッテリーモードについて

「Mode/Esc」ボタンを3秒間押すとバッテリーモードが有効となり、電源に接続せずにコントロールボードを操作することができます。バッテリーモードは、一定時間操作しない状態が続くと自動的に無効になりディスプレイが消灯します。なお、長期間器具を使用しないとバッテリーが放電してバッテリーモードが有効になりません。電源を接続して操作をしてください。

## プリセットプログラミングとプレイバック

SolaSpot Pro 1500 では、プリセットプログラミングを使用して、オンボードメニューシステムからプログラミングすることができます。本章では、各器具のオンボードメモリを使用して器具にスタンドアロン操作用のプログラミングを行い、シーンを作成・保存する方法について説明します。

### プリセットプログラミングの概要

プリセットでは、プログラムにシーンを組み入れた後、マスターとして指定した器具ごとに、または（必要に応じ）1 個のプログラムパーティションに指定したスレーブ器具のグループごとに、プレイバック用のプログラムパーティションにプログラムを指定します。SolaSpot Pro 1500 の出荷時には、工場でのプログラミングしたシーンとプログラムを搭載しています。そのためプログラムをすぐに使用／編集することができます。

以下の手順でプリセットを作成します。

1. マスターとして 1 台の器具を指定します。
2. シーンを選択／編集します。
3. プログラムにシーンをシーケンシングします。
4. プログラムパーティションにプログラムをシーケンシングします。
5. リンク上のスレーブ器具を設定し、マスターからプログラムパーティションをプレイバックします。

### 「Preset」メニューに移動する

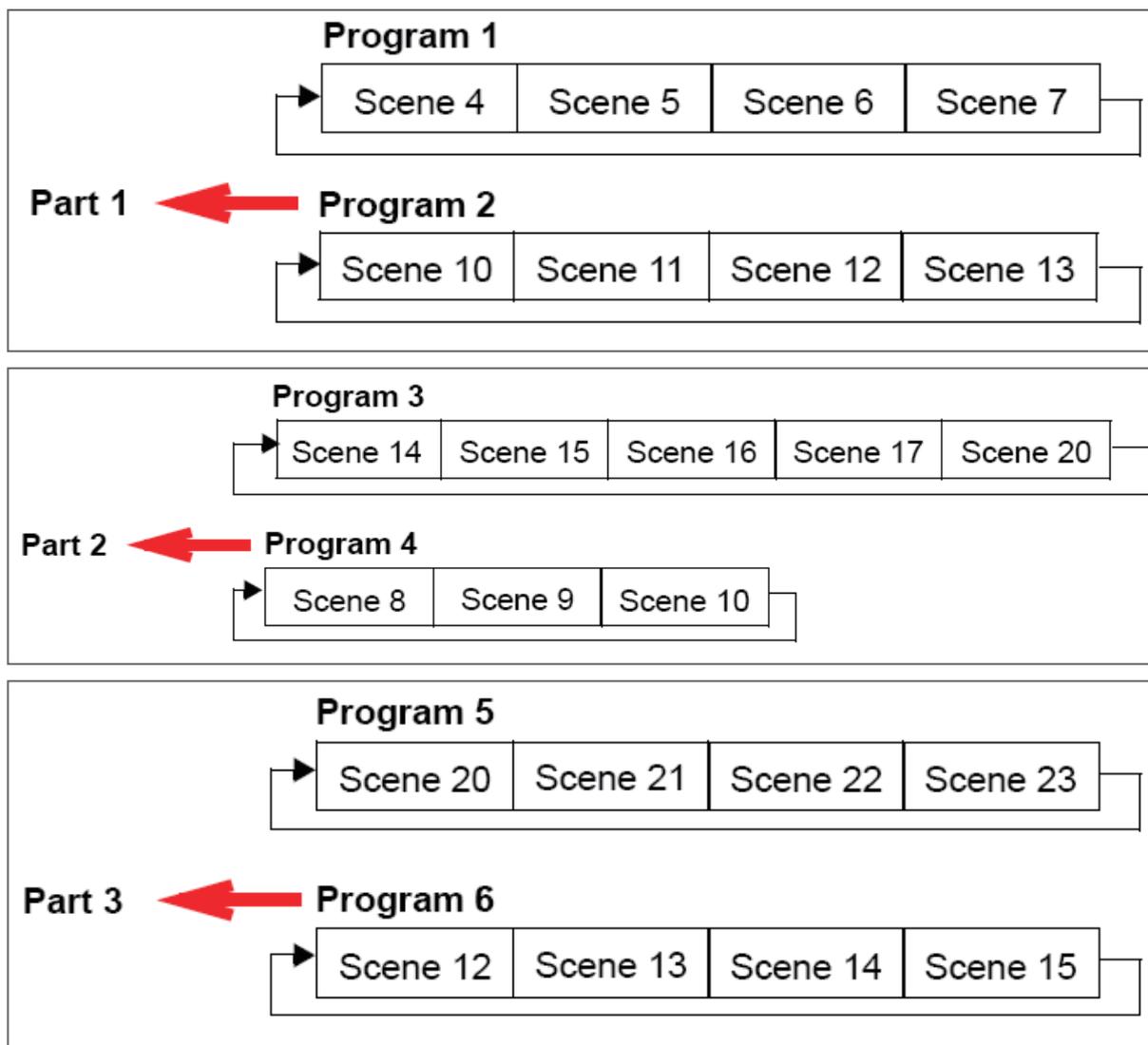
「Preset」メニューを起動するには、次の操作を行います。

1. 「MODE/ESC」ボタンを押し、メニューシステムの第 1 レベルに移動します。ディスプレイに、トップメニューレベルの 2 つのオプション（「Address」、「Info」）が表示されます。
2. 赤い星印 (\*) は、現在選択しているオプションを示しています。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して「Preset」までスクロールします。
4. 「Enter」ボタンを押して選択します。

### マスターとスレーブ

以下の例では、マスター上でプログラミングしたシーン、プログラム、パーティションの関係と、スレーブグループを指定する方法を示します。

1. マスターとして指定した器具のプログラム 1～プログラム 6 に、シーンのグループを編集します。
2. プログラム 2 をパート 1 に指定します。
3. プログラム 4 をパート 2 に指定します。
4. プログラム 6 をパート 3 に指定します。
5. スレーブ 1 に指定した器具がパート 1 をプレイバックします。
6. スレーブ 2 に指定した器具がパート 2 をプレイバックします。
7. スレーブ 3 に指定した器具がパート 3 をプレイバックします。



## 「Preset」メニュー

### プレイバック設定

プリセットプログラミングでは、1台の器具をマスターとして動作させる必要があります。その後、リンク上のその他全ての SolaSpot Pro 1500 をスレーブとして設定し、マスタープリセットをプレイバックすることができます。スレーブ器具は、その全てのプリセットパラメータとタイミングに関する情報をマスター器具から受信します。

プレイバック設定では、器具をマスターまたはスレーブとして指定します。また自動プログラミングからコンソールからの DMX 制御に切り替えたり、マスターまたはスタンドアロンモードの器具を音声による制御用として設定したりすることができます。

### 「Automatic Program Run」オプション

この「Playback」オプションでは、器具をスタンドアロンモードでプレイバックするか、マスターとしてプレイバックするか指定することができます。初期設定は「Alone」です。

器具をマスターとして指定するには、次の操作を行います。

1. 30 ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Playback」メニューまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して「Auto Program」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して「Master」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。選択した内容がディスプレイに表示されます。

## 「Set to Slave」 オプション

マスター器具でプリセットプログラムを定義した後、同じ DMX リンク上の他の SolaSpot Pro 1500 をスレーブとして指定し、マスター器具の定義に従ってプログラムパート 1、2、3 をプレイバックさせることができます。「Select Program」オプション (34 ページ) を参照してください。

器具をスレーブとして指定するには、次の操作を行います。

1. 30 ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Playback」メニューまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して「Set to Slave」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して「Slave 1」、「Slave 2」または「Slave3」オプションまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。選択した内容がディスプレイに表示されます。

## 「DMX Control」 オプション

このオプションを選択すると、「Auto Program」(プリセットプログラミング) 機能から「DMX Receive」(コンソール制御) 機能に戻ります。このオプションを選択すると、メニュー起動スクリーンに戻り、現在選択している機能として「DMX Receive」が表示されます。

## 「Music Control」 オプション

この「Playback」オプションでは、内蔵マイクロフォンで検出した音声トリガーを基準としてシーンをプレイバックする器具をスタンバイモードまたはマスターに指定します。初期設定は「Alone」です。

## 「Edit Scenes」

パラメータとは器具の属性です。パラメータを制御すれば、光線のカラー、ビームクオリティ/パターン、インテンシティーまたはフォーカス (ポジション) を修正することができます。DMX プログラミングでは、各器具のパラメータに対して DMX 値を指定します。シーンとは、パラメータ設定の組み合わせを指します。

SolaSpot Pro 1500 では、事前にプログラミングできる 250 通りのシーンを用意しています。ユーザーはこのシーンを利用し、または編集してプリセットプログラムを作成することができます。このうち最初の 64 シーンは工場で作成した設定であり、必要に応じて編集することができます。

## 「Edit Scene Parameters」 オプション

「Edit Scenes」オプションでは、SolaSpot Pro 1500 DMX プロトコルのパラメータ (61 個) のいずれかについて、DMX 値を選択することができます。

シーンの DMX パラメータを編集するには、次の操作を行います。

1. 30 ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Edit Scenes」オプションまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して、構築したいシーン番号 (1 ~ 250) までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して、編集したいパラメータ (Pan、Tilt、MSpeed、Color Wheel など) までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。

「Up/Down」ボタンを使用して、選択したパラメータの新しい DMX 値までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。

この操作により、パラメータオプションに戻ります。目的とする視覚効果 (照明デザイン) を完全に実現するまで、全てのパラメータに対して上記の作業を繰り返します。

5. 特定のシーンの全てのパラメータ値の選択を終了したら、「Mode/Esc」ボタンを押し、「Preset」レベルメニューに戻ります。

## 「Edit Scene Time」 オプション

この「Scene Edit」オプションでは、00.2s から 99.9s までの間でシーンタイムを秒単位で設定することができます。初期設定は 00.3s です。この値により、次のシーンを開始するまでのシーンの再生時間を設定します。

## 「Set Fade Time」 オプション

この「Scene Edit」オプションでは、000 から 255 までの間でフェードタイム値を設定することができます。この値により、シーンの開始後にパラメータへ適用するクロスフェードタイムを設定します。

## 「Set Input by Out」 オプション

この「Scene Edit」オプションでは、DMX から器具に入力したシーンのパラメータ値を記録することができます。DMX コンソールから視覚効果（照明デザイン）を作成した後、以下の操作を行います。

1. 30 ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Edit Scenes」オプションまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して、構築したいシーン番号（1～250）までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して「Input by Out」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
5. DMX 経由で入力した現在のパラメータ値をシーンにレコーディングします。
6. シーンへの DMX の記録が終了したら、「Enter」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## 「Edit Program」

この「Preset」メニューオプションでは、工場で設定した 10 個のプログラムから編集するプログラムを選択することができます。各プログラムに対し、一連のステップとして最大で 64 のシーンを設定することができます。また「Program Test」を選択すれば、いつでも現在定義しているプログラムをプレイバックし、プログラムをテストすることもできます。プログラムを編集するには、次の操作を行います。

1. 30 ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Edit Prog.」メニューまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Program 1」から「Program 10」までのいずれかのプログラムまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Step 1」から「Step 64」までのステップのうち、編集したいプログラムのステップまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。そのステップに現在指定しているシーンがディスプレイに表示されます。
5. 「Up/Down」ボタンを使用して、そのステップに指定したいシーンまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
6. 必要な全てのステップを指定したら、「End」を選択し、「Enter」ボタンを押してプログラムを保存します。

## 「Select Program」

この「Preset」オプションでは、3つのプログラムパーティションのいずれか1つにプリセットプログラムを指定することができます。スレーブとして指定した器具では、マスター器具が定義した任意のプログラムパーティションをプレイバックすることができます。

注：マスター器具の場合には、プログラムパーティション1のみプレイバックすることができます。

各プログラムパーティションにプログラムを指定するには、次の操作を行います。

1. 30ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Select Prog」メニューまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。各プログラムパートには、10個のプリセットプログラムが保存されています。
3. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Prog. Part 1」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Program 1」から「Program 10」までのいずれかのプログラムまでスクロールし、「Enter」ボタンを押してプログラムパートに追加したいプログラムを選択します。
5. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Prog. Part 2」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
6. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Program 1」から「Program 10」までのいずれかのプログラムまでスクロールし、「Enter」ボタンを押してプログラムパートに追加したいプログラムを選択します。
7. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Prog. Part 3」までスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
8. 「Up/Down」ボタンを使用して、「Program 1」から「Program 10」までのいずれかのプログラムまでスクロールし、「Enter」ボタンを押してプログラムパートに追加したいプログラムを選択します。
9. 「Mode/Esc」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

## 「Scenes Input」オプション

この機能を利用すれば、器具に入力したDMX値から複数のシーンを記録することができます。まず記録するシーンの数を決定します。その後はDMX値を変更するたびに、異なるシーンが記録されます。

1. 30ページの説明に従い、「Preset」メニューに移動し、選択します。
2. 「Up/Down」ボタンを使用して「Scenes Input」オプションまでスクロールし、「Enter」ボタンを押して選択します。
3. 「Left/Right」を使用して、開始シーン番号を設定します。
4. 「Up/Down」ボタンを使用して、終了シーン番号を設定します。DMX値を変更するたびに、範囲内の次のシーンに進み、そのシーンを記録します。
5. 全てのシーンをレコーディングしたら、「Scenes Input」メニューが自動で終了します。

注：SolaSpot Pro 1500では、「Scenes Input」のレコーディング中にはDMX入力データをプレイバックせずに記録します。（器具は動きません。）レコーディング後に結果を確認するためには、シーンを編集するか、プレイバックする必要があります。全てのパラメータについて各ステップ間のクロスフェードをゼロに設定した上で、DMXコントローラ上でシーンを作成することをお勧めします。DMX値を変更した場合、シーンが次に進み、そのシーンが記録されることに注意してください。

## DMX プロトコル

SolaSpot Pro 1500 DMX コントロールプロトコル リビジョンヒストリー 1.0.7 12-Jun-15

Revision	Revision Notes
0.0.1	First Pass - 29 Apr 14
0.0.2	Animation channels changed - 19 Jun 14
0.0.3	Fixed Gobo 1 position ranges - 26 Jun 14
0.0.4	Added auto focus, lens heater on/off - 25 Nov 14
0.0.5	Fixed Framing shutter function to match fixture operation - 26 Nov 14
0.0.6	Changed name - 8 Dec 14
1.0.0	Added continuous, normal and studio modes to the control channel - 10 Dec 14
1.0.1	Modified documentation of animation wheel - 15 Dec 14
1.0.2	Modified control channel - 21 Jan 15
1.0.3	Modified control channel fan modes no longer triggered by shutter - 5 Mar 15
1.0.4	Added fan control note 1 - 17 Apr 15
1.0.5	Added animation flag stop function - 27 Apr 15
1.0.6	Added defaults - 11 May 15
1.0.7	Fixed Gobo 1 defaults - 12 Jun 15

## チャンネル一覧

Solaspot Pro 1500 は、DMX 信号を 48 チャンネル使用して制御します。チャンネルのプロトコル詳細については次ページ以降を参照してください。

スタンダードプロトコル			
チャンネル	機能	注記	
1	パン (粗調整)	16 ビット制御	
2	パン (微調整)		
3	ティルト (粗調整)	16 ビット制御	
4	ティルト (微調整)		
5	ミックスカラー 機能		
6	シアン		
7	マゼンタ		
8	イエロー		
9	CTO (色温度)		
10	固定カラー 機能		
11	固定カラー 位置		
12	Gobo 1 機能		
13	Gobo 1 位置		
14	Gobo 1 回転機能		
15	Gobo 1 回転 (粗調整)		16 ビット制御
16	Gobo 1 回転 (微調整)		
17	Gobo 2 機能		
18	Gobo 2 位置		
19	ブレード 1 角度 A		
20	ブレード 1 角度 B		
21	ブレード 2 角度 A		
22	ブレード 2 角度 B		
23	ブレード 3 角度 A		
24	ブレード 3 角度 B		
25	ブレード 4 角度 A		
26	ブレード 4 角度 B		
27	フレーム回転 (粗調整)	16 ビット制御	
28	フレーム回転 (微調整)		
29	アニメーション 機能		
30	プリズム 機能		
31	プリズム回転 (粗調整)		16 ビット制御
32	プリズム回転 (微調整)		
33	フロスト		
34	フォーカス (粗調整)		16 ビット制御
35	フォーカス (微調整)		
36	ズーム (粗調整)		16 ビット制御
37	ズーム (微調整)		
38	オートフォーカス (粗調整)	16 ビット制御	
39	オートフォーカス (微調整)		
40	アイリス		
41	シャッター (LED 機能)		
42	シャッター (LED)		
43	ディマー (粗調整)		16 ビット制御
44	ディマー (微調整)		
45	エムスピード		
46	コントロール		
47	インディゴハイライター 機能		
48	インディゴハイライター ディマー		

## プロトコルの詳細

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル 低	デシマル 高	パーセント 低	パーセント 高	ヘキサ 低	ヘキサ 高	コントローラー 標準設定	
1	パン	パン 粗調整	0	255	0%	100%	00h	FFh	127	
2	パン	パン 微調整	0	255	0%	100%	00h	FFh	255	
3	ティルト	ティルト 粗調整	0	255	0%	100%	00h	FFh	127	
4	ティルト	ティルト 微調整	0	255	0%	100%	00h	FFh	255	
5	カラーミックス 機能	ピュアミキシング (通常カラーミックス)	0	31	0%	12%	00h	1Fh	0	
		サイクル (自動カラー変化。チャンネル6で速度調整)	32	47	13%	18%	20h	2Fh		
		ランダム (自動カラーチェイス。チャンネル6で速度調整)	48	63	19%	25%	30h	3Fh		
		未使用	64	255	25%	100%	40h	FFh		
6 7 8	シアン マゼンタ イエロー	ピュアミキシングモード								255
		飽和色 (最大濃度)	0		100%		00h			
		オープン (白色)	255		0%		FFh			
		サイクルとランダムモード。シアンチャンネルでスキャン速度の制御								
		最低速度	0		0%		00h			
		最高速度	255		100%		FFh			
9	CTO (色温度可変)	飽和色 (最大濃度)	0		0%		00h		255	
		オープン (白色)	255		100%		FFh			
10	固定カラー 機能	最高速度制御								48
		インデックス (位置調整)	0	15	0%	6%	00h	0Fh		
		順回転	16	31	6%	12%	10h	1Fh		
		逆回転	32	47	13%	18%	20h	2Fh		
		連続可変	48	63	19%	25%	30h	3Fh		
		高速スキャン	64	79	25%	31%	40h	4Fh		
		ランダム	80	95	31%	37%	50h	5Fh		
		未使用	96	255	38%	100%	60h	FFh		

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル	デシマル	パーセント	パーセント	ヘキサ	ヘキサ	コントローラー 標準設定		
			低	高	低	高	低	高			
11	固定カラー 位置	インデックス、スキャンとプリンクモード								0	
		1. オープン (ホワイト)	0	16	0%	6%	00h	10h			
		2.( オープン/レッド)	17	32	7%	13%	11h	20h			
		3.( レッド)	33	48	13%	19%	21h	30h			
		4.( レッド/ブルー)	49	64	19%	25%	31h	40h			
		5.( ブルー)	65	80	25%	31%	41h	50h			
		6.( ブルー/グリーン)	81	96	32%	38%	51h	60h			
		7.( グリーン)	97	112	38%	44%	61h	70h			
		8.( グリーン/オレンジ)	113	128	44%	50%	71h	80h			
		9.( オレンジ)	129	144	51%	56%	81h	90h			
		10.( オレンジ/マゼンタ)	145	160	57%	63%	91h	A0h			
		11.( マゼンタ)	161	176	63%	69%	A1h	B0h			
		12.( マゼンタ/コンゴ)	177	192	69%	75%	B1h	C0h			
		13.( コンゴ)	193	208	76%	82%	C1h	D0h			
		14.( コンゴ/オープン)	209	224	82%	88%	D1h	E0h			
		1. オープン (ホワイト)	225	255	88%	100%	E1h	FFh			
		スピンおよびランダムモード									
停止	0		0%	0%	00h	00h					
最低速から最高速まで動作速度の調整	255		100%	0%	FFh	00h					
連続モード											
0°から 360°までの任意の位置を設定	0	255	0%	100%	00h	FFh					
12	ゴボ 1 機能	最高速度制御								0	
		インデックス	0	15	0%	6%	00h	0Fh			
		ホイール順回転	16	31	6%	12%	10h	1Fh			
		ホイール逆回転	32	47	13%	18%	20h	2Fh			
		スキャン	48	63	19%	25%	30h	3Fh			
		ランダム	64	79	25%	31%	40h	4Fh			
		未定/インデックス	80	255	31%	100%	50h	FFh			
13	ゴボ 1 位置	インデックス、スキャンとプリンクモード								0	
		1.( オープン)	0	31	0%	12%	00h	1Fh			
		2.( 回転ゴボ 1)	32	63	13%	25%	20h	3Fh			
		3.( 回転ゴボ 2)	64	95	25%	37%	40h	5Fh			
		4.( 回転ゴボ 3)	96	127	38%	50%	60h	7Fh			
		5.( 回転ゴボ 4)	128	159	50%	62%	80h	9Fh			
		6.( 回転ゴボ 5)	160	191	63%	75%	A0h	BFh			
		7.( 回転ゴボ 6)	192	223	75%	87%	C0h	DFh			
		1.( オープン)	224	255	88%	100%	E0h	FFh			
		スピンおよびランダムモード									
		回転停止	0	3	0%	1%	00h	03h			
		最低速度から最高速度	4	255	2%	100%	04h	FFh			

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル	デシマル	パーセント	パーセント	ヘキサ	ヘキサ	コントローラー 標準設定
			低	高	低	高	低	高	
14	ゴボ1回転 機能	最高速度制御							0
		インデックス	0	15	0%	6%	00h	0Fh	
		順回転	16	31	6%	12%	10h	1Fh	
		逆回転	32	47	13%	18%	20h	2Fh	
		順方向ストロボ回転(ゴボアニメート)	48	63	19%	25%	30h	3Fh	
		逆方向ストロボ回転(ゴボアニメート)	64	79	25%	31%	40h	4Fh	
		未使用	80	255	31%	100%	50h	FFh	
15	ゴボ1回転 粗調整	インデックス/プリンクモード						127	
		0°から360°までの任意の場所を設定	0	255	0%	100%	00h		FFh
		順方向/逆方向/順方向ストロボ/逆方向ストロボ回転モード							
		回転停止	0	3	0%	1%	00h		03h
		回転 最低速度から最高速度の調整	4	255	2%	100%	04h		FFh
16	ゴボ1回転 微調整	インデックスモード						255	
		下位バイト0°から360°まで調整	0	255	0%	100%	00h		FFh
17	ゴボ2 機能	最高速度制御						0	
		インデックス	0	15	0%	6%	00h		0Fh
		ホイール順回転	16	31	6%	12%	10h		1Fh
		ホイール逆回転	32	47	13%	18%	20h		2Fh
		スキャン	48	63	19%	25%	30h		3Fh
		ランダム	64	79	25%	31%	40h		4Fh
18	ゴボ2 位置	1.(オープン)	0	15	0%	6%	00h	0Fh	255
		2.(ゴボ1)	16	47	6%	18%	10h	2Fh	
		3.(ゴボ2)	48	79	19%	31%	30h	4Fh	
		4.(ゴボ3)	80	111	31%	44%	50h	6Fh	
		5.(ゴボ4)	112	143	44%	56%	70h	8Fh	
		6.(ゴボ5)	144	175	56%	69%	90h	AFh	
		7.(ゴボ6)	176	207	69%	81%	B0h	CFh	
		8.(ゴボ7)	208	239	82%	94%	D0h	EFh	
		1.(オープン)	240	255	94%	100%	F0h	FFh	
19	ブレード1 角度A	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
20	ブレード1 角度B	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
21	ブレード2 角度A	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
22	ブレード2 角度B	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
23	ブレード3 角度A	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
24	ブレード3 角度B	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		
25	ブレード4 角度A	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh		

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル	デシマル	パーセント	パーセント	ヘキサ	ヘキサ	コントローラー 標準設定	
			低	高	低	高	低	高		
26	ブレード 4 角度 B	光路上からブレードを外す	0		0%		00h		0	
		光路上に最大限ブレードを入れる	255		100%		FFh			
27	フレーム回転 粗調整	フレーム角度 マイナス	0	127	0%	50%	00h	7Fh	0	
		フレーム角度 0°	128		50%		80h			
		フレーム角度 プラス	129	255	51%	100%	81h	FFh		
28	フレーム回転 微調整	フレーム角度 マイナス	0	127	0%	50%	00h	7Fh	0	
		フレーム角度 0°	128		50%		80h			
		フレーム角度 プラス	129	255	51%	100%	81h	FFh		
29	アニメーション 機能	使用しない	0	3	0%	1%	00h	03h	0	
		使用する、固定	4	6	2%	2%	04h	06h		
		使用する、作動停止	7	8	3%	3%	07h	08h		
		使用する、遅いから速いへ速度調整	9	255	4%	100%	09h	FFh		
30	プリズム 機能	最高速度制御								0
		使用しない	0	15	0%	6%	00h	0Fh		
		連続	16	31	6%	12%	10h	1Fh		
		順回転	32	47	13%	18%	20h	2Fh		
		逆回転	48	63	19%	25%	30h	3Fh		
		未使用	64	255	25%	100%	40h	FFh		
31	プリズム回転 粗調整	連続モード								127
		0° から 360° までの任意の場所を設定	0	255	0%	100%	00h	FFh		
		順方向 / 逆方向 / 順方向ストロボ / 逆方向ストロボ 回転モード								
		回転停止	0	3	0%	1%	00h	03h		
		回転 最低速度から最高速度の調整	4	255	2%	100%	04h	FFh		
32	プリズム回転 微調整	連続モード								255
		下位バイト 0° から 360° まで調整	0	255	0%	100%	00h	FFh		
33	フロスト	オープン (ハードエッジ)	0		0%	0%	00h	00h	0	
		可変エッジ、ハードからソフトへ調整	1	127	0%	50%	01h	7Fh		
		ソフトエッジ	128	135	50%	53%	80h	87h		
		周期的ストロボ	136	151	53%	59%	88h	97h		
		ランダムストロボ	152	167	60%	65%	98h	A7h		
		オープン (ハードエッジ)	168	225	66%	88%	A8h	E1h		
34	フォーカス 粗調整	フォーカスイン	0		0%		00h		127	
		フォーカスアウト	255		100%		FFh			
35	フォーカス 微調整	フォーカスイン	0		0%		00h		255	
		フォーカスアウト	255		100%		FFh			
36	ズーム 粗調整	ズームイン	0		0%		00h		127	
		ズームアウト	255		100%		FFh			
37	ズーム 微調整	ズームイン	0		0%		00h		255	
		ズームアウト	255		100%		FFh			
38	オートフォーカス	オートフォーカス 無効	0	15	0%	6%	00h	0Fh	0	
		5m	16	31	6%	12%	10h	1Fh		
		7.5m	32	47	13%	18%	20h	2Fh		
		10m	48	255	19%	100%	30h	FFh		

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル 低	デシマル 高	パーセント 低	パーセント 高	ヘキサ 低	ヘキサ 高	コントローラー 標準設定
39	オートフォーカス 微調整	フォーカスイン 微調整	0		0%		00h		0
		フォーカスアウト 微調整	255		100%		FFh		
40	アイリス	アイリスクローズ	0		0%		00h		255
		アイリスオープン	255		100%		FFh		
41	シャッター / LED 機能	通常シャッター機能	0	31	0%	12%	00h	1Fh	0
		ランダムストロボ	32	63	13%	25%	20h	3Fh	
		ランダムストロボ (同期)	64	95	25%	37%	40h	5Fh	
		通常シャッター機能	96	255	38%	100%	60h	FFh	
42	シャッター / LED	通常 / ランダム / ランダム (同期) シャッター機能							255
		クローズ	0	23	0%	9%	00h	17h	
		ストロボ速度 (遅いから速い)	24	229	9%	90%	18h	E5h	
		オープン	230	255	90%	100%	E6h	FFh	
43	ディマー 粗調整	クローズ	0		0%		00h		0
		オープン	255		100%		FFh		
44	ディマー 微調整		0		0%		00h		0
			255		100%		FFh		
45	エムスピード (モータースピード)	無効	0	3	0%	1%	00h	03h	0
		最長時間 (252.7 秒)	4		2%		04h		
		最短時間 (0.15 秒)	255		100%		FFh		
46	制御	制御チャンネルはクロスフェードしないでください。シャッターチャンネルの制御不要							0
		安全位置 (通常操作時)	0	9	0%	4%	00h	09h	
		パンとティルトのエムスピード 無効	10	19	4%	7%	0Ah	13h	
		以下のコマンド実行にはシャッターチャンネルを 0 にする							
		ディスプレイ消灯 (20 パケット送信後)	20	28	8%	11%	14h	1Ch	
		ディスプレイ点灯 (20 パケット送信後)	29	35	11%	14%	1Dh	23h	
		未定	36	48	14%	19%	24h	30h	
		すべてホーム、初期動作 (20 パケット送信後)	49	68	19%	27%	31h	44h	
		シャットダウン (80 パケット送信後)	69	75	27%	29%	45h	4Bh	
		シャッターチャンネルの制御不要 (注記 1)							
		スタジオファン制御モード (20 パケット送信後)	76	82	30%	32%	4Ch	52h	
		連続ファン制御モード (20 パケット送信後)	83	89	33%	35%	53h	59h	
		通常ファン制御モード (20 パケット送信後)	90	96	35%	38%	5Ah	60h	
		以下のコマンド実行にはシャッターチャンネルを 0 にする							
		未定	97	130	38%	51%	61h	82h	
		オーディオ同期	131	160	51%	63%	83h	A0h	
		シャッターチャンネルの制御不要							
		内蔵プログラム 1 シーン 1-8 EEPROM	161	171	63%	67%	A1h	ABh	
		内蔵プログラム 2 シーン 9-16 EEPROM	172	182	67%	71%	ACh	B6h	
		内蔵プログラム 3 シーン 17-24 EEPROM	183	193	72%	76%	B7h	C1h	
内蔵プログラム 4 シーン 25-32 EEPROM	194	204	76%	80%	C2h	CCh			
内蔵プログラム 5 シーン 33-40 EEPROM	205	215	80%	84%	CDh	D7h			
内蔵プログラム 6 シーン 41-48 EEPROM	216	226	85%	89%	D8h	E2h			
内蔵プログラム 7 シーン 49-56 EEPROM	227	237	89%	93%	E3h	EDh			
未定	238	255	93%	100%	Eh	FFh			

チャンネル	機能・構造物	説明	デシマル	デシマル	パーセント	パーセント	ヘキサ	ヘキサ	コントローラー 標準設定
			低	高	低	高	低	高	
47	インディゴハイライター 機能	インディゴハイライターディマートラッキングモード（ディマーチャンネルと同期）							0
		連続点灯	0	15	0%	6%	00h	0Fh	
		周期的ストロボ（遅いから速い）	16	41	6%	16%	10h	29h	
		ランダムストロボ（遅いから速い）	42	67	16%	26%	2Ah	43h	
		未定	68	127	27%	50%	44h	7Fh	
		インディゴハイライター 独立ディマーモード（ディマーチャンネルと非同期）							
		連続点灯	128	143	50%	56%	80h	8Fh	
		周期的ストロボ（遅いから速い）	144	169	56%	66%	90h	A9h	
		ランダムストロボ（遅いから速い）	170	195	67%	76%	AAh	C3h	
		未定	196	255	77%	100%	C4h	FFh	
48	インディゴハイライター ディマー	インディゴハイライター 消灯	0		0%		00h		0
		インディゴハイライター 100% 点灯	255		100%		FFh		

#### プロトコルの注記

注記 1: ファン制御モードの設定は電源を遮断後、もとに戻ります。電源を再投入したらファン制御モード設定を再送信してください。

- ・ 連続モード：ファンは中速で回転速度が固定されます。LED 出力は 100% です。周囲温度と使用状況に応じて、LED は素子保護のため段階的に減光します。
- ・ スタジオモード：ファンは段階的に半分速度で回転します。LED 出力は 75% です。周囲温度が上昇するに従い、ファンの回転数は半分まで増加します。周囲温度と使用状況に応じて、LED は素子保護のため段階的に減光します。
- ・ 通常モード：ファンは段階的に最大の速度で回転します。LED 出力は 100% です。周囲温度が 45 度以上であればの間 LED が最大出力になった後は、LED は素子保護のため段階的に減光を開始します。
- ・ 調光制御された LED 温度は確認が難しいことがあります。

## エラーコード

器具の電源を投入すると、器具は初期動作（ホーム・リセット）を完了しようとしています。しかし、ディスプレイに「Err channel is XX」と表示された場合、1ないし複数のチャンネルに問題が生じています。「XX」は、ポジショニング用のテストセンサーを搭載したチャンネル1、2、3、4、5、6を表します。例えばディスプレイに「Err channel is Color Wheel」と表示された場合には、チャンネル11に何らかのエラーが生じていることを意味します。チャンネル1、チャンネル3、チャンネル8に何らかのエラーが同時に生じている場合には、エラーメッセージとして「Err channel is Pan movement」、「Err channel is Tilt movement」、「Err channel is CMY」が交互に2回ずつ表示された後、もう1度器具がリセットされます。器具のリセットを3回以上実行した後もエラーメッセージが表示される場合には、エラーが生じているチャンネルのみが正しく機能しておらず、その他のチャンネルは正常に機能しています。技術的な詳細のサポートが必要な場合は、ウシオライティング株式会社までお問い合わせください。お客様自身で修理を行わないでください。

### PAN- movement Er

（パンヨーク動作エラー）ヨークの磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もパンが初期設定ポジションに移動しません。

### TILT- movement Er

（ティルトヘッド動作エラー）ヘッドの磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もティルトが初期設定ポジションに移動しません。

### Gobo Wheel 1 Er

（ゴボホイール1エラー）磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もゴボホイール1が初期設定ポジションに移動しません。

### Gobo Rot. 1 Er

（ゴボローテート1エラー）磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もゴボローテート1が初期設定ポジションに移動しません。

### Gobo Wheel 2 Er

（ゴボホイール2エラー）磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もゴボホイール2が初期設定ポジションに移動しません。

### Focus Er

（フォーカスエラー）磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もフォーカスが初期設定ポジションに移動しません。

### CMY Er

（CMYエラー）磁気インデックス回路が故障している場合（センサーの故障または磁石の損失）、またはステッピングモーター（もしくはメインPCB上のモーター駆動IC）に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もCMYが初期設定ポジションに移動しません。

#### Iris Er

(アイリスエラー) 磁気インデックス回路が故障している場合 (センサーの故障または磁石の損失)、またはステッピングモーター (もしくはメイン PCB 上のモーター駆動 IC) に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もアイリスが初期設定ポジションに移動しません。

#### Zoom Er

(ズームエラー) 磁気インデックス回路が故障している場合 (センサーの故障または磁石の損失)、またはステッピングモーター (もしくはメイン PCB 上のモーター駆動 IC) に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もズームが初期設定ポジションに移動しません。

#### Color Er

(カラーホイールエラー) 磁気インデックス回路が故障している場合 (センサーの故障または磁石の損失)、またはステッピングモーター (もしくはメイン PCB 上のモーター駆動 IC) に欠陥が生じている場合には、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。この場合には、リセット後もカラーホイールが初期設定ポジションに移動しません。



日本語 (Japanese) Ver1.0 2016/11/15

## **ウシオライティング株式会社**

本社 〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 2-9-1 RBM 東八重洲ビル Phone: 03-3552-8264 (直)  
大阪支店 〒 532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 6-1-1 新大阪プライムタワー 6F Phone: 06-7177-4669 (代)  
名古屋支店 〒 450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 5-7-30 ORE 名駅東ビル Phone: 052-589-1340 (代)  
福岡営業所 〒 812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 1-8-12 博多駅南 MT ビル Phone: 092-411-5945 (代)  
つくばテクニカルセンター 〒 300-2635 茨城県つくば市東光台 5-2-4 Phone: 029-847-7421 (直)

**<http://www.ushiolighting.co.jp/>**

ウシオライティング株式会社は Barco Lighting Systems, Inc. High End Systems, Inc. の正規輸入総代理店です。